

レンガのはなみち 煉瓦の華徑

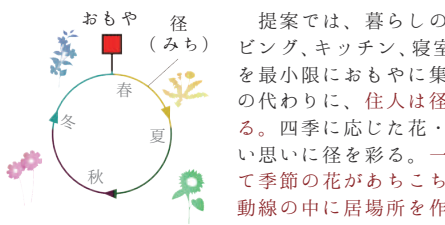
住人はみな、自分のお気に入りの径(みち)を持っている、好きな花を育て、好きな花々に囲まれる暮らし、煉瓦と華が生み出す美しい風景



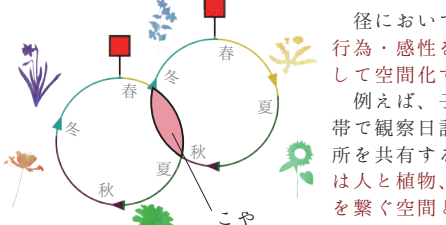
01. 花と煉瓦が彩る暮らし

四季のある日本では、花は様々な表情を見せる。人々はその様に魅了され、多くの詩が詠まれたり、色の名前に花が用いられたり、古来より親しまれてきた。現在でも生け花や花見など、花や植物を使った文化が多く残っている。そこで、花と煉瓦の組み合わせを考える。耐久性に優れ、腐らない煉瓦の壁は、花や植物を受け入れ、より一層、人々に魅力を享受する。

02-1. 四季から生まれる華徑



02-2. 『こや』という共有空間

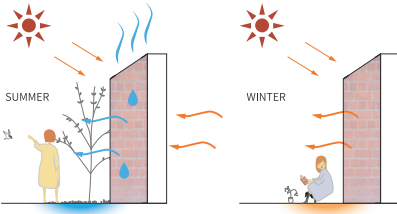


04. ある3世帯の暮らし

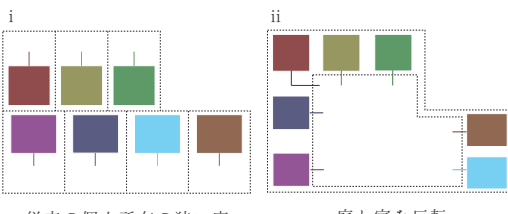
ここでのある3世帯の1年間の暮らしである。春には近所の仲間と花見小屋で桜を眺める。梅雨にはある世帯ではガーデニングフラワー作りの準備が始まり、紫陽花小屋で雨宿りをする。隣の世帯では小屋の屋根に当たる雨音に耳をすませる。夏にはまだ気温が上がらないうちに子供達は朝顔小屋で観察日記をかき、ある男性はパゴラと煉瓦でできた日陰で心地よい風を感じながら涼む。日常の小径に現れる「こや」は、世帯を超えた交流や意識の交わりを生みだし生活を多様に変化させる。

こや	春	夏	秋	冬
みんなを呼んで 花見	母がガーデニング プリザーブドフラワー作り	植物について 自由研究	木陰で涼んで テレワーク	母と子で 落ち葉はき
花見で子供の 入学を祝う	雨粒に輝く あじさいを眺める	夏休みの 観察日記	家族揃って スイカ割り	クリスマスツリー 飾り
花見で 料理を振る舞う	梅雨の時期に 雨音に耳をすませる	ナスを使って 精霊馬作り	夕暮れ時に ハンモックで昼寝	クリスマスツリー 飾り
				プリザーブドフラワー で入学式の飾り作り
				育てたかぼちゃを 収穫して工作
				かぼちゃのランタンで ハロウィンパーティ
				頂き物で 柚子風呂
				こや
				お爺さんが 盆栽の手入れ
				実った柚子の 正月飾り

02-3. 径を縁取る煉瓦



03. 『おもや』『径』『こや』の構成



03. 『おもや』『径』『こや』の構成

